



▲良型のフサカサゴも釣れた

◀食味抜群のオニカサゴは女性にも人気

▲ようやく釣れてピース



▲本命が掛かると竿先がガンガンたたかれる



▲オニカサゴの釣り場は小網代〜城ヶ島沖の水深120メートル前後

▼この日メンバーが用意したエサはサバの切り身、食紅で染めたイカタン、サーモンの皮、鶏の皮



●取り込みは仲間と協力して行おう

初心者が多いときは小網代〜城ヶ島沖の水深60〜90メートルを狙うアジ五目がおすすすめ。アジは25〜30センチ級主体に35センチオーバーの良型も釣れるそうので、サバやイナダなども交えてクーラーが満タンになる日も珍しくないという。

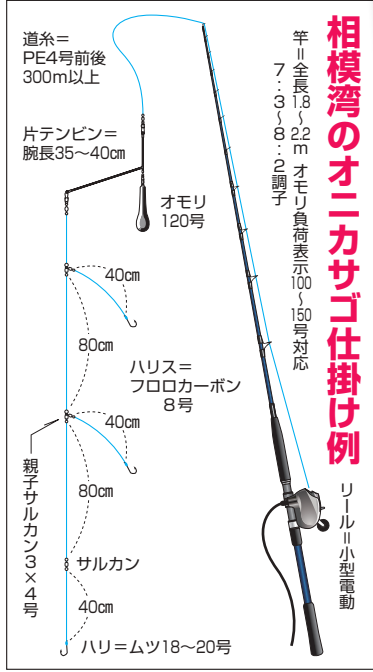
8月からはコマセ釣りで狙うカツオも受け付けて。仲間と出かけて強烈な引きと脂が



●オニカサゴ仕掛けは「アジ」式2〜3本バリ、オモリ120号を採用

乗った刺身やたたきを味わうのもオツだろう。

今回取材したオニカサゴは周年狙え、釣り場は小網代〜城ヶ島沖の水深120メートル前後。サイズは300〜800グラム級主体に日によつては1〜1.5キロ級も顔を見せる。アヤマカサゴやウツカリカサゴ、ムシガ



相模湾のオニカサゴ仕掛け例

レイなども交じり根魚好きに好評を得ている。

秋から冬にかけては城ヶ島沖のカワハギ狙いで船を仕立てるリピーターも多く、25センチ級の良型がそろるのが魅力。今後大いに期待したい。

そのほか春先はエサのカタクチイワシが手に入ればイワシメバルへも出船。スルメやヤリイカなども受け付けている。

優しいベテラン船長が相模湾の四季折々の釣り物を案内

それまで漁師を生業にしていた先代の関本光生さんが太平洋を仕立専門の船宿として開業したのは約50年ほど前。30年前からは息子の関本透船長が舵を取り長年のキャリアアで培った勘と腕で多くの釣り人を楽しませている。

船長に夏〜秋のイチ推しをた

ずねると、メインはマダイで、ワラサの群れが入ってくれば同時に狙うマダイ&ワラサが人気を集めるとのこと。

釣り場は城ヶ島沖や剣崎沖で、マダイは1〜2キロ級中心に日によつては3〜4キロ級も上る。今年には剣崎沖方面で早くもワラサの回遊が見られるとのこと。今後が楽しみだ。

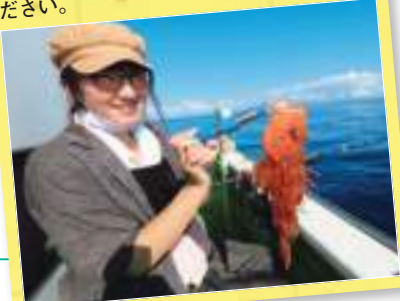
初挑戦でオニカサゴが釣れました!

by 松橋瑠美さん

当日、船中1尾目のオニカサゴをキャッチしたのは千葉県千葉市の松橋瑠美さん。感想を伺ってみました。

「ヒラメ釣りは2回ほど経験があるんですが、オニカサゴは初チャレンジでした。感想は正直にいうと気がついたら釣れていたって感じです(笑)。なんかちょっと重い気がするなとは思っていたのですが……。オニカサゴを食べるのは初めてなので帰宅後が楽しみです。もう一度チャレンジして今度は釣れたじゃなく、釣った実感を味わいたいです」

初オニカサゴおめでとうございました。次回は1キロオーバーを目指して頑張ってください。



今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都北区の渡辺晃成さんが幹事を務めるグループ。釣り物はオニカサゴです。



●仲間や家族と沖釣りホリデー!

Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

仕立専門

●撮影・文/古河好夫

【第14回】三浦半島小網代 太平丸

三浦半島西岸の小網代港から出船する太平丸は、遊漁船業30年以上のベテラン船長が城ヶ島沖を中心とした相模湾の人気ターゲットを存分に楽しませてくれる船宿。平日は4名、休日も5名から受け付けてくれる。



TARGET オニカサゴ

関本 透船長に聞きました! オニカサゴのコツ

「オニカサゴのコツはまさに底ダチを取り直すことと、誘いですね。誘いはオモリが着底したら竿先を頭上まで上げて、ゆっくりと下げていただく。で、オモリが着底しない場合は底ダチを取り直して再び誘います。この繰り返しが基本です。

置き竿でも釣れないことはありませんが、仕掛けが底から浮きすぎてしまったり、根掛かりも多くなります。とくに潮が流れないような日は誘ったほうがいいですね。それとアタリがあったら、しっかりと合わせてから巻き上げるようにしてください。合わせずに巻き上げると、途中で魚が外れてしまうことが多くなります」



三浦半島小網代港 太平丸

TAIHEIMARU
Kojiro port, Miura Peninsula
☎046-881-3934 (詳細は巻末の情報欄参照)

料金プラン

●平日は4名まで3万3000円、1人増し7000円。土日祝日は5名まで4万円、1人増し7000円。釣り物より料金の変動あり。下船後、船宿にて精算。リレー釣りが可能。

船宿脇の駐車場



乗船場の駐車スペース



◀手入れが行き届いたレンタルタックルが借りられる

利用ガイド

- 【予約方法】**
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保
- 【出船時間】**
日の出より出船可能。釣り時間は出船から帰港まで最大8時間
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**
氷付き。エサや仕掛けは別料金だが、船長に事前に伝えておけば用意してくれる
- 【レンタルタックル】**
手巻きリールのセット1000円、電動リールのセット2000円
- 【集合場所】**
船宿に集合。車は船宿に隣接する駐車場、または乗船場の駐車スペースに停める



▲船は4.9トン。12名までが釣りやすいと関本船長



▲太平丸の船宿はこの看板が目印



▲関本 透船長



《釣り物カレンダー》

釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マダイ		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
オニカサゴ		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
ワラサ										🐟	🐟	🐟	🐟
カツオ									🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
カワハギ		🐟	🐟	🐟						🐟	🐟	🐟	🐟
アジ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
メバル			🐟	🐟									
マルイカ					🐙	🐙	🐙						
スルメイカ							🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙	🐙
ヤリイカ		🐙	🐙	🐙	🐙								



●竿を立て、しっかり魚を船に寄せタモですくい上げる



▲ウツカリカサゴは良型主体



オニカサゴやフサカサゴを持つときは毒下ゲに注意



▲こちらはムシガレイとフサカサゴの一荷



●まめに誘いをかけるのが釣果をのぼすコツ



▼「めっちゃおいしいです！」クーラーで冷やしてきたアイスを食べながら一休み



▲オニカサゴとウツカリカサゴが連続ヒット



アヤマカサゴも交じった

幹事の渡辺晃成さんに聞きました!

太平丸のここが好き!

船長が優しくアットホームな雰囲気です。釣りを楽しめます。リーズナブルな料金もグッドです!

「太平丸は今回初めて利用したのですが、船長が優しくアットホームな感じがいいですね。それと料金がリーズナブルな点もうれしいです。いつも釣行は千葉県や茨城方面が多いので、相模湾にいい船宿を開拓できた気分です。今日はデカイのをバラしちゃったので、すぐにでもリベンジしたいです。仲間も喜んでくれたし、ぜひまた利用したいと思います」

当日9名で乗船し、1人あたりの料金は8660円。ご協力ありがとうございました。



同船はレンタルタックルも充実し、手入れの行き届いた竿とリールを借りられるので沖釣りビギナーも心配は無用。関本船長は優しい人柄で実に親切。リレー釣りの相談なども快く乗ってくれるのでメンバーと日程、釣り物が決まったら、とりあえず電話してみることをおすすめする。

太平丸を訪れたのは7月下旬のこと。東京都北区の渡辺晃成さんのグループがオニカサゴで

仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は9名が集まり6時半に出船。関本透船長に釣り場を伺うと小網代、城ヶ島沖とのこと。30分ほど走った小網代沖水深120メートル前後で開始となった。しばらく流してみたらアタリが出ない。ベタナギの無風状態で潮も効かないことが原因のようだ。船は城ヶ島寄りに移動。水深120メートル前後で再開となる。ここではアタリは出始めたがなかなか食い込まない様子。そんななか左トモで竿を出していた松橋瑠美さんが突然500グ

ラム級のオニカサゴを釣り上げた。聞けばオニは初挑戦で、気が付いたら釣れていたとのこと。このころから徐々に潮が効き出し300〜600グラム級のオニカサゴがポツポツと取り込まれる。時間の経過とともに食いは上向きお昼前には連続するような場面も見られた。

良型のウツカリカサゴやアヤマカサゴ、ムシガレイなども上がり船上は実に楽しい雰囲気。そんなとき右舷の間で釣っていた平山直樹さんの竿が大きく絞り込まれた。竿先をガンガンたたき引きは間違いなく本命。ややあつて仲間の差し出すタモに収まったのは1キロオーバーのオニカサゴで釣った本人は大喜び。平山さんは今回が2度目のオニカサゴで前回はボウズに終わったとのこと。うれしさもひとしおだろう。

しかしよいことは長くは続かないもので、後半戦に入るとサメが回ってしまい、仕掛けを切られるトラブルが続発。アタリも出なくなった午後1時に沖揚がりとなった。

当日のトップは1キロオーバーを筆頭に6尾のオニカサゴを釣り上げた平山さん、お見事! 夏の小網代、城ヶ島沖のオニカサゴ、おすすめです。